

区分・種別	重要文化財（石造美術）		
名称	いしてじごりんのとう 石手寺五輪塔 1基		
所在地	松山市石手		
所有者	石手寺	管理団体	
指定年月日	昭和27年11月22日		
解説	<p>五輪塔は、平成7（1995）年まで門前にあったが、現在は、石手寺境内北の裏山にあり、源頼朝の供養塔として祭られている。総高273cm余り、花崗岩製の巨大な五輪塔で、保存状態がよく、損傷もみられない。地輪、水輪、火輪、風輪、空輪の五輪がよく整い、当初の姿をよく残す石塔として貴重な存在である。</p> <p>形式、技法からみて、鎌倉時代の代表的なすぐれた石造美術品である。</p>		

